

- 令和4年度定例総会開催
- 令和4年度事業研修内容のお知らせ
- まちづくり支援課よりお知らせ
- 新入会員の紹介

# 消費者の会だより

発行  
 十和田市消費者の会  
 十和田市西十二番町6番1号  
 TEL (51) 6783  
 FAX (23) 5571

## 令和4年度 十和田市消費者の会 定例総会

令和4年5月17日(火) 市役所別館 5階会議室

### 会長あいさつ



鈴木 盛治

総会は、官庁街の桜が満開の頃が通例となっていましたが、コロナ発生以来令和2年度は(書面議決)、令和3度は総会のみで、懇親会は中止。今年こそはと思ってお

りましたが、今年も青森県ではコロナ感染が、猛威を振るっており、特に此処に来て上十三保健所管内は今までにない感染が続いております。理事会で今年の総会開催について検討した結果、会員の皆様と元気な顔合わせをしたいと考え、感染対策をしっかりと行った上での開催を決定致しました。

また、来賓の皆様にご臨席頂く予定でしたが、青森県非常事態発令や特に3月頃より上十三保健所管内に急速に拡大しており、ご挨拶を昨年に続き控えさせて頂くことに致しました。

皆様にはご了承下さいますようお願い申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍の中、十和田市消費者の会50周年事業として、記念式典と創立記念誌【歩みを進めて五十年】を無事発刊し、五十一年に向け本日スタートした所でございます。

又昨年度は、外郭七団体の事務の見直しが検討され、5回の会議が実施されて、その都度理事会を開催し、当会としての方向付けをしてきた所でございます。

少しお時間を頂き、経過説明をさせていただきます。

特に各七団体において、『公共性の点』から見直しがあり消費者の会におきましても次の3点が指摘され、理事会において検討を重ねてまいりました。

- 1、県消費大学講座・企業研修の借り上げバス使用の件
- 2、資源回収の時、外郭の車使用と事務員の参加の件
- 3、『消費者だより』編集の事務局への負担の件

の改善が求められ、今年度におかれましては会の自立促進を要請されております。

理事会で検討した結果、次の内容で会の運営を進めていきたいと決定しております。

- 1、県消費大学講座・企業研修等は、当面バス利用は無理と判断して、会員による自家用車を利用して、10~15名定員で参加実施していく。
- 2、資源回収においても、会員の自家用車を借用して、皆様方の協力を戴きながら継続していく。
- 3、消費者だよりは、会の編集委員を継続しながら、最小限の情報紙として発刊していく。

以上何かと会員の皆様には、これまでと違い不便をおかけすると思いますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

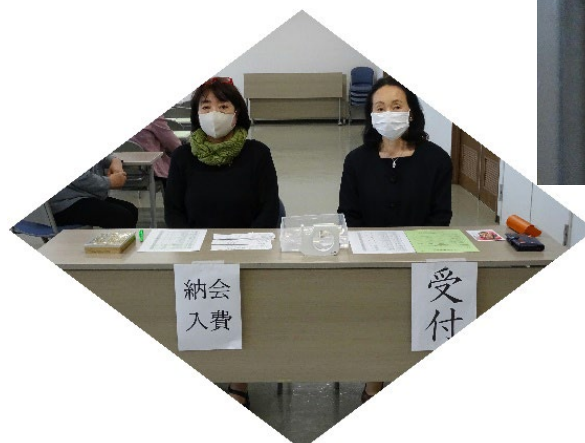
又今年度におきましても自立促進に関しましては、理事の皆さんに協力を戴きながら、行事を実施していく所存です。

尚、奥入瀬クリーン対策協議会が、外郭団体から脱退し今後外郭6団体となりました。

以上報告した状況でございます。

令和4年度の事業計画は、後程奥理事から説明がありますが、宜しくご審議の程お願いいたします。

早くコロナ禍が終息し活動できる事を祈念して、総会が無事滞りなく終了いたします事をお願い致しまして、挨拶とさせていただきます。



# 令和4年度事業研修内容のお知らせ

## 消費生活大学と防災地震体験

国は2050年までに、日本の農業を有機農業にするという目標を掲げています。消費者として、何を考えねばならないかを学び、また突然やって来る地震を実体験します。

期日 7月27日(水)  
場所 青森市  
会費 2500円

## 三本木開拓・幻の穴堰

三本木開拓の歴史を振り返り、稲生川の誕生と稲生川流域の歴史を学び、150年前にタイム・スリップしてみましよう

期日 9月17日(土)  
場所 法量農村公園センター ～ 幻の穴堰  
会費 2000円

## 料理研修 古津軽伝承料理(あかつきの会)

津軽の女性達が、冠婚葬祭や田植え等ことある毎に集まり客人をもてなしてきた伝承料理を体験します。

何日も手間暇かけた季節ごとの素朴な家庭料理を学び試食をします。

最年長のばっちゃんリーダー、アシスタントあっちゃによるおもてなしのこころと、会存続人気の秘訣を学びます。

消費者問題など「困ったな～」体験懇談会です。

期日 10月 日  
場所 弘前市  
会費 3000円

## 企業研修 B-G E T バイオガスエネルギーとわだ

十和田市は、令和5年度までに一人一日あたりゴミの排出量を920g以下と計画している。今まで、消費者の会としても3R(リサイクル・リユース・リデュース)に取り組んできていますが、市はさらに、リヒフューズ(発生回避)を加え減量に取り組んでいます。

その一環として生ゴミを処理して、バイオガスエネルギーを造っているメカニズムを学び生ゴミについての知見を得ます。

期日 12月 日  
場所 十和田市  
会費 1500円

令和4年度の事業計画締切日は終了していますが、研修内容により、参加ご希望の方は事務局まで申込みください

# 「まちづくり支援課」よりお知らせ

総会終了後、まちづくり支援課 川村課長から御挨拶があり、『十和田市消費者の会』の窓口担当について、ご紹介がありました。

岩崎友香子係長・下川原銀也推進監の2名が紹介され、川村課長からは『市の消費者問題に関して、取り組めるところは一緒になって取り組んでいきたい』と力強いご挨拶を頂きました。

尚その後、十和田市消費者生活センター下川原推進監より相談受付



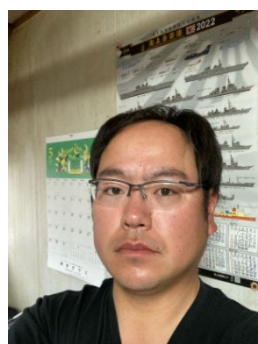
状況の説明があり、その時の資料を同封いたしますので、会員の皆様におかれましては、十分に注意され又、友人、知人に啓蒙して戴ければ幸いです。

(三浦栄子)

十和田市消費生活センター 下川原銀也推進監

# 消費者の会新入会員の紹介

この度、十和田市消費者の会に笹渕副会長にお誘いいただき、入会しました。



下川原伸一郎と申します。

50年という歴史のある会と言う事で右も左もわからない事だらけですが、今後は私が皆様の力となって支えていければと思っております。まだまだ至らぬ部分もあると思いますが、精いっぱい務めて参りますので、これからも是非共に変わらぬご指導の程宜しくお願い致します。

十和田市相坂字長槽でガラス関係、カーポートなどを扱った会社で、ご商売をしています。会社名は御幸(みき)ガラスといいますので、お気軽に声をかけてください。よろしくお祈りします。

紹介者 寺澤 憲司

## 編集後記

5月に入り、マスク着用の国の指針が検討され、コロナ禍も終息に向かう事を祈るばかりです。

総会での会長挨拶にもありましたが、【消費者だより】も編集委員会で、悪戦苦闘しながらなんとか発行することが出来ました。

83号は、コロナ禍も落ち着き行事の報告が沢山できる事を期待したいものです。

理事 寺澤 憲司  
三浦 栄子